



平成25年7月25日

報道関係各位

観光ホスピタリティ学科と筑北村 第1回目の連携事業について 取材のお願い

拝啓 新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学の総合経営学部観光ホスピタリティ学科では、筑北村との連携事業に取り組んでいます。その第1回の事業として学生が参画し筑北村で開発された商品について検討を行ないます。

これは、先に締結した協定に基づき、村の資源を活かすことを目的とする事業であり、筑北村で活動する4つの食に関するグループが開発した商品について学生が試食し、その後それについてグループディスカッションを行なうものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、報道関係各社様を通して、地域の皆様に広くご紹介いただきたく、取材方よろしく願いいたします。

敬具

記

日 時：平成25年7月26日(金) 11:20～

場 所：松本大学 522教室

参加者：筑北村から10名程度、観光ホスピタリティ学科学生50名程度

内 容：開発商品の試食とグループワーク

<目的>

筑北村の農産物加工品の試食、意見交換を実施することで、既存の加工品の発展性や新たな取り組み等について検討を進める契機とする。

<内容>

1. 試食会(筑北村加工品を学生が試食、意見集約)
2. 意見交換会(試食をした加工品について ※さまざまな話し合いから新たな可能性を探る)
3. 今後の活動方針について

以上